

平成 28 年 2 月 1 日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社
三井住友信託銀行株式会社

赤道原則への署名について

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役社長:北村 邦太郎)の子会社である三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:常陰 均、以下「三井住友信託銀行」)は、本日、プロジェクトファイナンス等における環境・社会配慮に関する国際的な民間ガイドラインである「赤道原則(Equator Principles)」に署名いたしましたのでお知らせいたします。

三井住友トラスト・グループでは「投融資先の環境・社会への影響に対する配慮」を、当グループの企業価値に与える影響と当グループが社会に与える影響の双方の観点で、最も重要性が高い課題の一つとしてとらえています。

大規模な開発プロジェクトは、自然環境や地域社会へ大きな影響を及ぼす可能性があります。三井住友信託銀行はプロジェクトファイナンスが間接的に自然環境や地域社会に負の影響を与える可能性があるという認識を持っています。また、環境問題や社会問題を起因としてプロジェクトが中断した場合の貸出債権の価値が劣化するリスクを回避・低減することも健全な金融機関としての責務と考えています。

三井住友信託銀行はプロジェクトファイナンスの意思決定のプロセスで、プロジェクトが環境・社会に十分配慮しているかを確認し、また、プロジェクト運用開始後に環境・社会への配慮の状況をモニタリングするリスクマネジメントの枠組みとして赤道原則を導入いたします。

赤道原則には現在世界 36 カ国の 82 の金融機関が署名しています。赤道原則については赤道原則協会の公式ホームページ(英文)をご参照ください。

赤道原則協会:<http://www.equator-principles.com/>

以上